

# 8 日本の農業・林業・漁業とその変化

## ○日本の農業地域

平野部:水田が全国各地に分布

→東北地方の日本海側や北陸の平野部で( **稲作** )が盛ん

大都市周辺:( **近郊農業** \*\*\*)が発達

→新鮮さが求められる野菜などの生産が盛ん

※( **近郊農業** )とは、都市の消費者向けに、都市から距離の近い地域で行われる農業のこと

都市から遠く離れた地域:交通網の発達により、農作物を各地に運ぶことができる

→出荷時期に合わせて作物の生産を調整

→( **促成栽培** \*\*\*)や( **抑制栽培** \*\*)を行う地域もある

※( **促成栽培** )とは、価格が高い時期に出荷するため、野菜などの成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法のこと

( **抑制栽培** )とは、価格が高い時期に出荷するため、野菜などの成長を遅らせて出荷時期をずらす栽培方法のこと

日当たりがよい斜面や扇状地:( **果樹栽培** )が盛ん

→涼しいところではリンゴなど、暖かいところではかんきつ類などを栽培

畜産:農業産出額が最も多く、大規模経営の農家が増加

→北海道地方では乳牛や肉牛、九州地方では肉牛や豚・鶏を多く飼育

→飼料の多くを輸入に頼るため、( **食料自給率** )が低い

＜主な農業地域の農業産出額の内訳(2018)＞

	全国	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
米	19.2%	8.9%	32.3%	17.2%	26.6%	26.6%	19.4%	10.0%
野菜・いも類	27.6	23.2	19.0	41.2	27.1	22.1	29.5	26.2
果実	9.2	0.4	14.1	3.6	14.5	17.2	15.5	7.0
畜産	35.7	58.3	31.0	30.6	20.1	24.2	30.3	46.4
その他	8.3	9.2	3.6	7.4	11.7	9.9	5.3	10.4

## ○日本の農業の特色と課題

自然災害の影響→収穫量や価格が変動しやすい

海外からの安い農産物の輸入が増加→農業経営が厳しくなる

農業を目指す若い人が減少→農業に就く人の3分の2が65歳以上の高齢者

日本の農産物は品質が高く安全性が高い→国内外で高評価

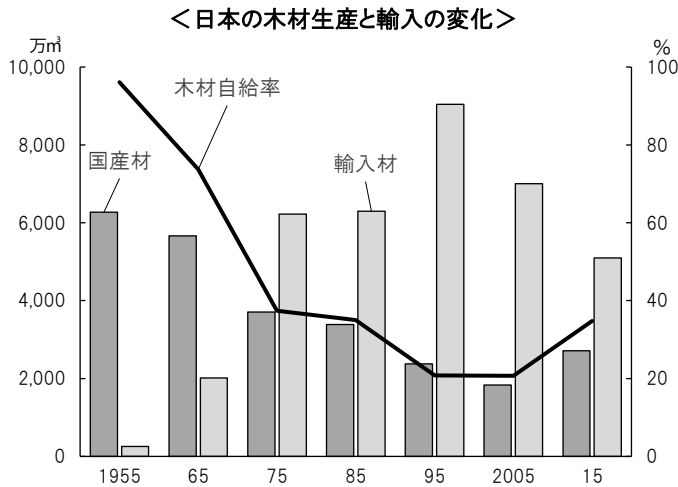
機械化による農作業の効率化→労働時間の短縮・収穫量の増加

## ○日本の林業と漁業の特色

日本の林業：日本の森林は約4割が人工林

→1960年代以降、海外からの木材輸入により、国内の林業が衰退

→近年では、国内産の品質のよい木材の見直しへ



日本の漁業：日本の周囲の海は暖流と寒流がぶつかる好漁場

以前の漁業：( 遠洋漁業 \*\*)と( 沖合漁業 \*\*)が盛ん

→ロシアなどの国が漁業権を主張し、遠洋漁業の漁獲量が減少

→日本近海の不漁により、沖合漁業の漁獲量が減少

※( 遠洋漁業 )とは、遠く離れた海域で行う漁業のこと

( 沖合漁業 )とは、およそ 200 海里以内の海域で行われる漁業のこと

現在の漁業：魚介類の確実な供給のため、( 養殖業 \*\*\*)や( 栽培漁業 \*\*\*)が行われる

※( 養殖業 )とは、魚介類をいけすなどで育てて増やす漁業のこと

( 栽培漁業 )とは、稚魚や稚貝などを放流し、これらが育った時に収穫する漁業のこと

